

中津川市災害図上訓練（例）

～風水害編～

災害図上訓練の趣旨

参加者が自分たちの地域の地図を囲み、災害が起きる前に地域の危険箇所、安全な避難経路、避難行動要支援者の位置等を確認し、地域内の状況を図面上で確認することを目的とします。

訓練内容（実施例）

【①土砂災害・浸水害の危険箇所把握】

地図上に土砂災害や浸水害の危険箇所を記入します。「中津川市土砂災害ハザードマップ」を参考にしつつ、地域で把握している、大雨の際いつも浸水するような場所や、がけ崩れが心配される場所等を記録します。

【②避難行動要支援者や高齢独居の方の位置把握】

災害時に避難支援が必要な高齢者、障がい者などの居場所を分かる範囲で記録します。

【③避難経路の記入】

避難所への安全な避難経路を道路に沿って記録します。避難所までの道のりに土砂災害危険区域などが存在し、安全な避難経路がない場合などは、地域内に別の一時的な避難所も検討してください。

準備しておくもの

①市で準備できるもの

- ・白地図（A1）※自主防災会単位で出力できます。
- ・図上訓練シナリオ（本書）

②各自主防災会で準備するもの

- ・付箋、マジック、蛍光ペン（赤・黄）、シール、定規等の筆記用具
- ・地図を広げることのできる場所（机など A1 サイズ以上の紙を広げられる場所）
- ・過去に図上訓練で作成した地図（あれば参考資料とするため、無ければ不要）

当日のながれ（シナリオ参照）

- ①図面を広げて、必要な筆記具等を用意する。

- ②図上訓練の説明（進行役による概要説明→訓練終了までの司会進行）

図上訓練をうまく行うためのポイント

なるべく多くの人に意見を出してもらうことが大切です。活発に意見交換できる雰囲気をつくるよう、お互いに意識することを心掛けてください。

③ハザードマップに記載してある災害危険区域の説明

④地図に諸条件を記入

- ・中津川市土砂災害ハザードマップを確認し、浸水想定区域は蛍光ペン等で記入し、がけ崩れや土石入の危険個所はマジックで記入。
- ・ハザードマップの危険個所以外に、大雨のとき浸水する場所やがけ崩れが起こりそうな場所に印をつけ、付箋を貼る。
- ・地域内の避難行動要支援者（高齢独居の方や、車椅子、足が不自由な方、外国人世帯など）の方の家の場所を地図上にシールで記録。（シールが無い場合は付箋や別の色のマジック等使用）
- ・土砂や洪水の危険区域にお住まいの方や避難行動要支援者の方の自宅から、避難先までの避難経路をマジックで記載。避難先は指定避難所の他に、地域の集会所や親戚宅など、事前に決めておきましょう。

⑤まとめ

進行役または自主防災会長が訓練のまとめをする。

災害図上訓練進行シナリオ

進行内容	司会進行役
災害図上訓練の説明 (所要時間 1 分)	最初に、この災害図上訓練とはどのようなものか説明させていただきます。 図上訓練では、地域の地図を囲み、自由に意見を出し合っていて、皆で事前に地域独自の危険箇所、支援が必要な方の場所、避難経路などを確認することを目的としております。
訓練の進め方の説明 (所要時間 1 分)	次に訓練の進め方について、説明します。 まず私から中津川土砂災害ハザードマップの見方を説明します。その後、地図に書き込んでいただく情報とその色などをお伝えします。皆さんは、話し合いながら、わかる範囲でこの地図上に必要な情報を書き込んでいってください。 全ての書き込みが終わりましたら、グループ内で更に意見等を出し合い、気づいた点があれば付箋に記入し、地図内に張っていきましょう。
進行内容	司会進行役のセリフ
ハザードマップ の説明 (所要時間約 1 0 分)	それでは、この地域の危険箇所についてお伝えします。ハザードマップを見てください。 まずは土砂災害の危険区域からです。土砂災害の危険区域は、赤色や茶色の枠線と網掛けで示してあります。 黄緑色が地すべりの危険区域、 赤色が土石流の危険区域、 茶色ががけ崩れの危険区域です。 また、中が網掛けになっている部分は特別警戒区域といい、特に注意が必要な範囲です。 次に浸水想定区域です。浸水想定区域は黄色からオレンジ色、紫色に色が塗られている部分となります。一番薄い黄色は0～5メートル未満、オレンジ色が5～10メートル未満、紫色は20メートル以上の想定です。 また、青色で丸い形の網掛けがある場合、それは家屋倒壊等氾濫想定区域と言い、河川が氾濫した際、川の流れの勢いが強い為、建物に被害が発生する恐れがある範囲を表しています。 最後にため池の浸水想定区域です。地震や大雨によりため池が決壊した場合に浸水の恐れがある範囲を表しており、濃い青の枠線と色で記載してあります。 また、クラブや指定避難所の場所等もマップに記載されています。凡例で確認しましょう。

地図への書き込み (所要時間約 20 分)	それではこれから地図への書き込みをしていきます。 ① 今、説明した危険箇所やそれ以外の部分で、特に危ないと思われる危険箇所を地図上に書き込んで下さい。 ・土砂災害の危険だと思われる場所は赤のマーカーで、 ・浸水や洪水で危険だと思われる場所は黄色のマーカーで囲んでください。<u>(※色の指定は、赤や黄色以外でも可能。また蛍光ペンがなければマジックでもよい。)</u> また、具体的にどのような危険があるのか、付箋に書いて貼り付けましょう。 ② 次に、足の不自由な方や独居の高齢者の方など、災害が起きたときに避難の支援が必要そうな方について、住んでいる家にドットシールを貼ってください。 これは自己申告でもいいですし、日ごろの様子を知っている人が「シール貼っといたほうがいいよ」と申告してくれてもいいです。<u>(※シールがなければマジックでもよい。)</u> ③ 最後に避難先までの避難経路を書き込んでもらいます。出発点は皆さんのご自宅、もう一つは先ほどシールを貼った方のお宅です。 これを緑のマジックで記入してください。 <u>(※色の指定は、緑以外でもOK)</u> なるべく危険な場所を避けるように記録しましょう。 早めの避難を心掛ければ、大雨などの際には危険とされている経路も平常時と同じように安全に通行することができます。 また、皆さんの中で自宅が危険区域に入っていない方については、「自宅避難」が選択できます。そういった方は無理に避難しようとせず、自宅の中で安全を確保しましょう。 ④ 書き込みが終わったら、地図を見ながら意見を出し合い、気づいた点等は付箋に書き込んで貼り付けましょう。
訓練終了 (所要時間 3 分)	それでは時間になりましたので、一度ペンを置いてください。図上訓練は定期的にみんなで意見を出し合いながら、危険な場所や助けが必要な人を把握し、災害が起きる前に知っておくこと、また、災害時にはどう対処すればいいかということを考えることが最大の目的です。風水害に対する一番のポイントは災害が起きる前に行動することです。危険な場所をあらかじめ共有しておけば、いつもと違う、尋常ではない大雨が降った時に、逃げなければいけない場所、近づいてはいけない場所が分かります。今回の結果を踏まえて、日頃から危険箇所を意識するよう心がけてください。 今後とも宜しくお願いします。

『訓練まとめ』

進行内容	司会進行役のセリフ
総評 (所要時間 5 分)	最後に自主防災会長さんから図上訓練について、総評をいただきますと思います。
終了	(自主防災会長コメントの後) ありがとうございました。また、今回の訓練を通して何かご意見やご質問がある方はいらっしゃいますか。 (意見募集の後) ありがとうございました。これで図上訓練は終了させていただきます。 皆さんお疲れ様でした。